

2018年度 津田塾大学学外学修センター主催シンポジウム

持続可能な共生社会と 女性のライフ・デザイン

— 私が変わる、社会を変える —

2018年

11月18日 [日]

10:00-15:00 参加費 無料

津田塾大学
千駄ヶ谷キャンパス

- JR中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 徒歩1分
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅
A4出口 徒歩1分
- 東京メトロ副都心線「北参道」駅 徒歩10分

| 対 象 |

津田塾大学在籍の学生 [先着100人]

津田塾大学出身の社会人の皆様

津田塾生の学外学修を支援いただいた
関係者の皆様

津田塾生の学外学修の受け入れに
ご関心のある関係者の皆様

| 申込み |

下記申込みフォームに必要事項を
ご記入の上送信ください。

<https://goo.gl/forms/gHPNEoyMM1OWk7R63>



| 問合せ |

津田塾大学学外学修センター

TEL:042-342-5129

MAIL:offcampus@tsuda.ac.jp



「ジェンダー平等を実現しよう」、「働きがいも経済成長も」。これらのスローガンは、深刻な社会問題について、世界規模で取り組む「持続可能な開発目標」のゴールです。多様性を尊重する社会の実現は、現在、政府、産業界および市民社会で広く認識され、世界中のすべての人々がめざす共通目標でもあります。

多様性の尊重をめざした共生社会の流れを反映して、大学での学びも多様化しています。津田塾大学では2017年から「ギャップターム」を導入し、海外サマースクール、インターンシップ、国内外ボランティアといったキャンパスを超えた学びを奨励しています。同時に、それらの学外での経験を、自らのキャリアやライフ・デザインに活かす取り組みも行っています。

より幅広い視野をもち、より深く自らのキャリアやライフ・デザインを考えること、そして、社会の課題に主体的に取り組んでいくことの実現には、学生自身の経験のみならず、ロールモデルやメンターとなる社会の第一線で活躍する卒業生たちの経験から学ぶことも大切です。

そこで、卒業生と在校生が、一堂に集い、経験を共有し、語り合う場として、本シンポジウムを開催いたします。



津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY

- 9:30 - 受付開始
- 10:00 -10:10 主催者挨拶 学長 高橋裕子 学外学修センター長 大島美穂
- 10:10 -11:00 基調講演「とりの目、虫の目、“わたし”の目 — 広く、深く、主体的に。」 八丁地園子氏 (津田塾大学学長特命補佐)
- 11:10 -12:10 卒業生によるパネル・ディスカッション
- 12:10 -15:00 ネットワーキング・ランチ (学生ポスター展示、学生プレゼンテーションあり)



[基調講演]

八丁地園子

津田塾大学学長特命補佐

1972年学芸学部数学科を卒業後、(株)日本興業銀行(現みずほ銀行)入行。調査部門にて、マクロ経済モデル・企業審査用FSモデル等のプログラミング、ALMシステム構築、業界等の統計分析を担当。男女雇用機会均等法発効に伴い総合職となり、営業部門等、いわゆる伝統的銀行業務から、フィナンシャルエンジニアリング勃興期の金融商品開発・市場リスク管理業務等、新金融分野の業務等も経験。同行英国証券子会社IBJ-International-Plc.取締役副社長、興銀リース株式会社執行役員、藤田観光株式会社常務取締役などに就任し、経営にも携わる。50代に他学社会人大学院にてMBA、60代に博士号を取得。現在、津田塾大学学長特命補佐。また、日新製鋼株式会社(社外)取締役、日本航空株式会社(社外)取締役を兼任。



[パネル・ディスカッション]

アイシヤ・アーマッド

富士通株式会社

1998年学芸学部国際関係学科卒業後、富士通株式会社入社。マーケティング本部に配属。入社してから一貫してサーバ、ストレージ製品の販売推進業務を担当。入社後、10年間は主にPCサーバの商品企画業務に従事し、その後、売上予算計画の立案や予実管理等の業務を担当。2016年からマネージャーとして、管理職という立場でグループをマネジメントしながら、業務を行う。女性活躍や働き方改革が叫ばれる中で、まだまだ道半ばである環境を変えるべく日々奮闘中。趣味は旅行、映画鑑賞、ヨガなど。



[パネル・ディスカッション]

清水梨枝

大日本印刷株式会社

2003年3月学芸学部国際関係学科卒業後、2003年4月大日本印刷株式会社入社。海外事業部配属に配属され、建築内装や家具化粧材の海外営業として米国市場を担当。2005年10月同事業部欧州市場担当に異動。メジャーな顧客としてIKEA社などを担当。2013年、マーケティング部に所属、欧州市場の新規分野立上げに携わり、現在、グローバルビジネス本部営業部にエキスパート。年2-3回海外出張をしながら、営業の市場拡販活動を精力的に行う。2013年に社内メンター研修終了。メンターとして活動。働き方変革、女性活躍支援の社内活動に参加。2017年から所属事業部でダイバーシティ推進委員会ワーキンググループ、働き方改革事務局を兼務。



[パネル・ディスカッション]

瀧澤菜穂

株式会社 電通

2007年学芸学部国際関係学科を卒業後、PR会社に勤務。PR会社では、製菓・トイレタリー・化粧品・食品などのPRプランナーを担当。うち2年間は、外資系製菓会社に出向・常駐し、新規事業のブランディングに携わる。2012年、電通入社。ヘルスケア・メディカル領域のサービス・商品のコミュニケーション戦略、キャンペーン企画、施策実施を担当。2018年3月より、アクティベーションソリューションセンター購買行動企画部チーフ・プランナーとして、コマースマーケティングをテーマとする専門チームの一員としての活動を開始。消費者の買い物意識の分析や未来予測、ソリューション開発などを行う。



[パネル・ディスカッション]

館盛美秀

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

1997年学芸学部英文学科卒業後、旅行会社に入社。経営計画推進室に配属され、中長期経営計画の策定や、全社横断の生産性向上プロジェクト、KAIZENプロジェクトなどのマネジメントを担当。2000年より6年間、日本骨髄バンクにおいて、白血病など非血縁者間の骨髄移植を必要としている患者のための移植支援業務、骨髄バンクの普及広報活動を通じたドナー登録推進活動に従事。2006年より、ビジネス領域の専門性を高めるため、外資系企業に転職。人事へのキャリアアチェンジを経て、2011年2月よりジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社人事部にて勤務。製薬セクター担当人事や人材開発教育人事を経験し、現在、医療機器セクター担当人事に従事。5歳になる娘を育てるワーキングマザー。



[パネル・ディスカッション]

益田朋子

ワーナー ブラザース ジャパン合同会社

2005年学芸学部英文学科卒業後、ギャガ株式会社へ入社。関連会社のインターネット配信事業GYAOやShowTime向けのコンテンツ買付けの仕事に携わる。2009年に会社の休職制度を利用し、バンクーバーへ8カ月間の留学を経験。帰国後は元の職に戻りつつ、字幕翻訳の勉強をするため、働きながら翻訳学校へ通う。転職活動を経て、2012年ワーナーブラザースジャパンへ入社。「ハリー・ポッター」や「ゴシップガール」に代表される多数の映像作品(映画・海外ドラマ・アニメーション)の放送権および配信権をテレビ局やインターネット配信サービス向けに販売するライセンスセールスを担当。2017年秋に第一子を出産し、育休を経て2018年4月より復職。